

事業名 とおかまち市民楽校（がっこう）

目的 市民がお互いに先生となり、生徒となり学びあう環境づくりを行うために市民講座を行う。そして「気づき」「学び」「行動」の循環をつくり、市民が、自分たちで気づいた様々な生活課題に対して自分たちで取り組み、解決していくような土台づくりを行う。

実施主体 十日町市教育委員会生涯学習課

参加対象 一般市民

参加者数 1回あたり約20人（定員は各50人程度）

回数 毎月1・2回開催 **日数** 年12回程度 **時間** 1回につき約2時間

場所 十日町市中央公民館、十日町情報館ほか

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月11日（火） 午後7時～午後8時30分	おかげさま編「生涯学習とボランティア活動」	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部客員教授 木村清一さん
	内容・方法	継続的に行っていく「とおかまち市民楽校」の開講記念として、ボランティアと生涯学習をテーマに、中央講師を招いて講座形式で実施。ボランティア活動の意義や、学びとボランティア活動の関連についての講義を行う。	
2	12月9日（火） 午後7時～午後8時30分	おかげさま編第2弾 地域の支えあいの取組事例に学ぶ 「ここでずーっと暮らしたい」	「うちの実家」代表 河田珪子さん
	内容・方法	『おかげさま編第2弾』として、新潟市内で地域の茶の間づくりを実践している会の代表者を講師に、地域の支えあいのしくみづくりについての講義を行う。	
3	平成21年1月17日（土） 午後2時～午後4時	伝統文化編 「わたしが見た、とおかまちの“ちんころ”」	早稲田大学特別研究員 スザンネ・クリーンさん
	内容・方法	第3回目は『伝統文化編』として、十日町市内の伝統芸能・文化を研究している社会人学生を講師に、外の目から見た、十日町の伝統芸能の良さや活用の仕方についての提案型の講話を行う。	

成果

- ・ 中越大震災後に実施計画が中止していた、いわゆる“市民大学”を復活させたもの。趣味的な講座や教室以外に、広く様々なテーマについて市民が学ぶ場が必要だと考えていたことから、年度途中からではあるがこの“楽校”をスタートさせたことは意義があると思う。

課題

- ・ 理想の進め方としては、市民どうしがお互いに生徒として、先生として学び合う場を持ちたいと考えているため、積極的な市民向けのPRが必要である。また、内容の企画運営に携わる市民スタッフの育成を進めたいと考えている。

問合せ先 十日町市教育委員会生涯学習課(担当：根津正喜) TEL：025-757-8918